

50 歳以上の方 - 初めて HIV 感染と診断された、パート 6



米国における HIV 感染者の約半数は 50 歳以上です。ここで注意すべき点はいくつかあります。性行為の活発な年配者には、若年層の人々と同程度の HIV 感染リスクがあります。しかし、若年層に比べて HIV に関する知識は乏しく、自分自身を守る意識が薄い傾向があります。

様々な要因が感染リスクを高めます。

- 勃起障害治療薬は高齢の男性が性交渉を持つきっかけを作ります。
- 年配者はコンドームを使用する傾向がより低く、性交の安全性が低下します。
- 年配者は自分の性行為やドラッグ使用について医師と話し合うことを避けたがります。

また、年配者には多くの医療機関との関わりがあります。それぞれの医療機関は、1 人の患者の身体的および精神的なニーズについて部分的にしか把握しておらず、すべてを把握してはおりません。



年配者は他の治療を行っている場合も多いため、HIV 治療は難しいものになります。HIV/エイズは、年齢が高いほど疾患が増加する病状または症状と誤解されている場合もあります。

年配者は若年者に比べて HIV 検査を受ける傾向が低くなります。検査を受けることが恥ずかしいと感じたり、不安に思うためです。医師は年配者に対して HIV/エイズ検査をする事を優先事項とは考えません。そのため、年配者の HIV 感染は診断されるのが遅くなるケースが多々あります。結果として、健康が損なわれ余命が短くなってしまいます。

HIV に対する羞恥心もまた年配者に顕著に見られる懸念事項であり、医療サービスを探す障壁になっています。家族や友人の病気や死亡を経験するなどして、年配者の多くは、既に孤立感を感じています。HIV 感染の診断は、そのような孤立感を増長させる可能性があります。そこで、年配の HIV 感染者には特に、サポートグループを勧めたり、その他の HIV に向き合う方法を提案することが重要となります。



HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。